

■早い梅雨入り

今年の梅雨入りは、近年で最も早いものとなり、当初は梅雨らしい日が続きましたが、5月後半から晴天が続く空模様となっています。

新聞の気象情報などによりますと、梅雨入りが早ければ梅雨明けも早いと思いきや、意外と梅雨明けは遅いようでありますので、今後の空模様が心配です。農作物の成長・収穫に悪影響が無いよう祈るばかりです。

新型コロナウイルスの感染拡大については、連日の報道等でご承知のとおり、京都府を含め様々な変異株ウイルスによる感染が拡大しつつあり、緊急事態宣言も延長され、終息の目途も立たない中、区民の皆さんを含め、早くコロナワクチン接種が完了し、一安心できる日を待ち望む今日この頃です。

区長 糸井 正彦

■今後の各種行事等

6月13日(日) グラウンド除草作業

7月11日(日) 愛宕神社例祭

大川神社例祭

4月17日(土) 雨の中での例祭となりました。

この例祭も昔は4月25日と決まっていた、20年ほど前までは三重保育所に通う園児たちも保育士さんに引率され、あの斜面を上がりお参りをしておやつをいただいていたいました。

また、もう少しさかのぼり40年ほど前まではお参りに来られた方々を、各家、持ち回りで接待されていたそうです。

時代の流れとともに祭りを取り巻く環境は変わっても、神仏を敬う心はきちんと次の世代に受け継がれています。



誕生おめでとう！

3月13日（土）三重駐在所の上島ご夫妻に、元気な女の子が生まれました。

『想乃果・そのか』ちゃんというお名前、お二人は人を想いやる心を持てる子に育ててほしいとの願いと、奥様は「〇〇か」の付く名前にしたいとのことでご主人が漢字を考えられたそうです。

2904gで誕生した想乃果ちゃん、今では（5/3 現在）4700gと順調に大きくなられています。

初めての子育てで心配事が尽きないと笑顔で話す新米ママさんは、三重の先輩たちにいろいろと子育てについて聞きたいそうです。



4月は チューリップがいっぱい



公民館下のチューリップ



上三重有志管理のチューリップ

4月はチューリップの花があちこちで咲き、三重の中が春らしい雰囲気になりました。
4月25日（日）には人権標語の入ったチューリップのプランターを片付けましたが、球根ごと倒れているものがありました。
今年は球根の植え方が浅かったのか、4月の強風に耐えることが出来ずに風にあおられて倒れてしまったようです。
上三重の有志が植えておられるチューリップはすつきりと咲いていて、公民館のものとの違いを感じました。
来年はこけないように植えなければと思いました。

ひまわりプロジェクトは中止だったけど..

緊急事態宣言が延長されたため、12日に予定していたひまわりプロジェクトが中止になりました。

子どもを交通事故から守るため、ヒマワリの苗を植えて地域のみんなで交通安全にとりくもうというプロジェクトです。

駐在所の上島さん、畑の提供者の糸井照雄さんと公民館役員で今年は植えようと相談していたところ、小学校の役員の糸井久美さんがラインで小学生の家庭に連絡してくれました。

急なお願いでしたが、20人もの子どもたちと保護者、役員が集まって種をまきました。

夏には大きなひまわりが咲くことでしょう。

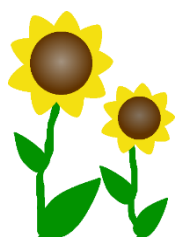
終了後ちょっとだけ川遊びをしました。気持ち良さそうでした。



公民館だよりの感想やご意見、またお気に入りの写真などがありましたらぜひ公民館にお寄せください。

メールアドレス

hananomie@gmail.com



上三重の花々

5月30日(日)村づくりの花配り事業と同時に、1組の女性を中心にした有志が花植え作業をしました。

ベコニアやマリーゴールドの他にコリウス、ポチュラカをプランターに植え付け、上三重の旧駐在所跡に並べました。

季節ごとにいつも手入れをされていて花がいっぱいです。

糸井泉さんのお宅のバラも満開になっていました。



三重を花いっぱいに！

5月30日(日)村づくり委員会のみなさんが、花いっぱい運動『花・ゆめ・mie』の活動を行いました。

昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大のため中止になりましたが、今年度は感染防止を心がけて、花の苗植えと各戸への苗の配布を行いました。

マリーゴールドとベゴニアの苗が可愛らしく育ちキレイな花が咲きますように。

